

女性活躍推進の新たな展開

目標

- **女性の就業率**(25~44歳) H32年 70% に (H22年61.4%→H27年67.8%(全国最下位))
- **女性の就業希望率と有業率との差を埋める** (潜在労働力の確保)

取組方針

- 1 「**仕事で活躍する女性**」と「**女性が活躍できる企業**」を増やす
- 2 **就労継続する女性を増やす**
- 3 **再就職する女性を増やす**
- 4 **キャリアアップを目指す女性を増やす**
- 5 **起業する女性を増やす**

4本の柱と取組課題

I (全般)女性活躍に関するマインド改革

- 1 **女子学生・生徒**に対するライフプランニング等の働きかけ
- 2 女性活躍推進の気運の盛り上げ、**企業**に対する女性活躍推進の働きかけ
- 3 女性活躍を可能にする**男性**の家事・育児参画の促進

II 女性の就労継続・再就職支援

- 1 **企業**に対する女性が働き続けやすい職場づくりの働きかけ
- 2 **企業**と就職希望女性との**交流による人材確保**を支援
- 3 **就労女性**に対する相談・支援

III 女性のキャリアアップ支援

- 1 **働く女性**のキャリアアップを支援
- 2 管理職・人事担当者向の**女性職員コーチング**
- 3 **スキル向上**を支援

IV 女性の起業支援(Leapならプロジェクト)

- 1 **女性**の起業への関心喚起、モチベーションの向上
- 2 **起業希望女性**に対する起業ノウハウの提供
- 3 **子育て支援分野**の起業を支援

H29年度主な取組項目

- ① 女子学生のライフプランニング等「**生き方**」に関する講座の開催
- ② 官民をあげて女性活躍の気運を高め、県内企業に取り組みを促す、**女性活躍推進のためのネットワークの形成**
- ③ 「**男性の育児参画**」を促進するための職場推進員の育成、男性向けセミナー等の開催

- ① セミナーや県内企業の魅力を紹介する「**女子大学生ワーク&ライフEXPO**」の開催
- ② 相談窓口のキャリアコンサルタントによる**個別相談・スキルアップ**への支援(子育て女性就職相談窓口、女性センター、スマイルセンター)

- ① 官民をあげて女性活躍の気運を高め、県内企業に取り組みを促す、**女性活躍推進のためのネットワークの形成**(再掲)
- ② 女性センターにおける「**働く女性相談**」の実施
- ③ 相談窓口のキャリアコンサルタントによる**個別相談・スキルアップ**への支援(子育て女性就職相談窓口、女性センター、スマイルセンター)(再掲)

- ① **女性限定セミナー・相談会**の開催
- ② 女性起業家の販促促進のための**実践セミナー、チャレンジシヨップ**の開催。**起業支援機関ネットワーク**による個別支援

新たな展開

「なら女性活躍推進倶楽部」によるマインド改革・フィールド整備

市町村、関係団体・機関との連携による

- ・**出産、子育て、介護で仕事を諦めない職場づくり**
- ・**男女ともに働きがいのある職場づくり**

マインド改革

学生、経営者のマインドを改革する

- 高校生(男女とも)のマインドづくり
- ・女子大学生のマインドづくり
- ・県内就職への気運醸成
- 就職女性、離職女性のマインドづくり
- 企業、事業所のマインドづくり
- 男性のマインドづくり

フィールド整備

女性が働き続けるための環境を整備する

- 企業、事業所のフィールドづくり
- 地域の多様な人材に子育て支援に参画してもらう
- 子育て環境の整備、地域子育て人材の活用

起業(スキル)

女性ならではの経験を活かした起業を支援する

若い女性の仕事と子育ての「両立不安」の解消

①女性が結婚・出産、介護などの経験をしながら働き続けることができない原因は何か

(参考文献:仕事と子育て両立不安白書 2017年7月28日 発行:スリール株式会社)

奈良県の女性の現状

- ◆就業率が低い(20~64歳 62.8% 全国47位)(H27年国勢調査)
- ◆管理的従事者における女性の割合が低い(12.1% 全国29位)(H24年就業構造基本調査)
- ◆働く女性の約6割が第1子出産を機に退職(H25奈良県子育て実態調査)
- ◆子育て期の女性にも就業希望者が多い(下図参照)
- ◆未婚率が高い(25~39歳 41.4% 全国3位)(H27年国勢調査)
- ◆平均初婚年齢が高い(29.5歳 全国7位)(H28人口動態統計)



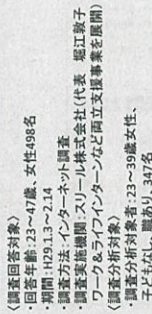
H24年就業構造基本調査(総務省)

女性が両立できない原因

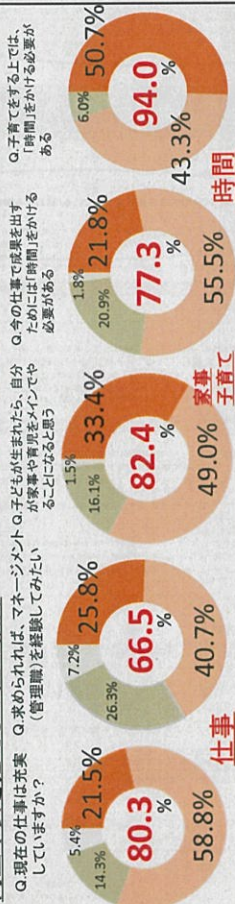
20代~30代、出産経験のない働く女性へのアンケート結果から見える原因分析

仕事と家庭の「両立不安」について

出産経験のない92.7%の働く女性が「両立不安」を感じている。



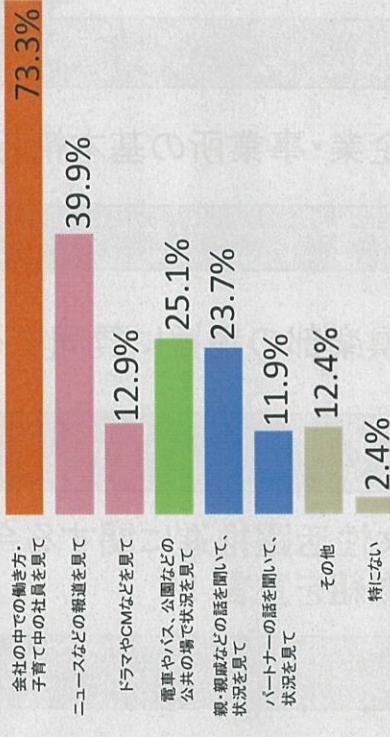
両立不安を抱える女性の傾向



意識の傾向

両立するには、仕事も家庭も子育ても、「しっかり」「自分で」やらないといけないと思っています

不安を感じる原因になったシーン



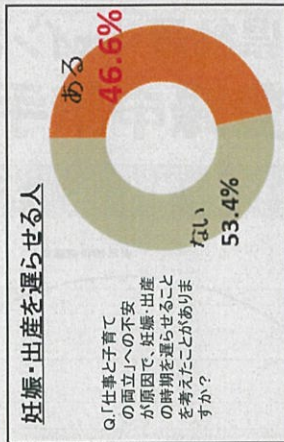
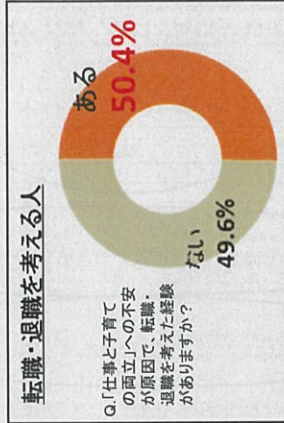
不安の要因

周りで見聞きしたことから、「こうしなきゃ」「でも無理」と思うようになっていく

女性の意識

固定観念にしばられ、両立不安に陥る

仕事をがんばる いい妻、嫁になる いい親になる
何かを諦める



結果

仕事を楽しんでも「両立不安」が原因で、約50%の女性が仕事または子育てを諦めようとしている

若い女性の仕事と子育ての「両立不安」の解消

②女性が結婚・出産、介護などの経験をしながら働き続けるためには何が必要か

(参考文献:仕事と子育て両立不安白書 2017年7月28日 発行:スリーエム株式会社)

両立不安を解消するために(マインド)

○親世代の「子育て観」にとらわれすぎない

戦前

- ◆ みんなで働きみんなが子育て
- ◆ 約80%が農家
- ◆ 男女とも働く
- ◆ 子どもは祖父父母や年上の兄弟がみる
- ◆ 小さいときから子育てをしているため、子育てに慣れている

みんながサポート → 安心

高度経済成長期

- ◆ 父親が働き、母親が子育て
- ◆ 中心の約80%が核家族
- ◆ 近隣によるサポートがなくなる
- ◆ 製造業で「力仕事」が得意な男性が求められる
- ◆ 「男性が働き女性が家庭を守る構造」に合う経済的な施策(終身雇用等)を会社・国をあげてサポート

会社・国がサポート → 安心

バブル崩壊

- ◆ 共に働き、子育て
- ◆ 約70%が共働き
- ◆ 製造業からサービス産業へ
- ◆ 景気低迷により、会社・国の経済的施策が手薄に
- ◆ 近隣のサポートなしに、核家族で子育てしなければならない状況に

サポートなし → 不安

○仕事・家事・子育ては「みんなで作る」スタイルに

解決策

自分に合ったスタイルを見つける

- ◆ なりたて姿、やりたいことを若い世代に見え化する(中・高校生、大学生)
- ◆ 多くのロールモデルを見て、「なりたて姿」を明確にする(大学生、新入社員)
- ◆ 子育ては、多くの大人に見守られる環境をつくる(地域、学校、職場)

- ◆ 子どもを社会で育み見守る意識の醸成、フィールド整備
- ◆ 女性が自分のスタイルに合った両立支援サービスを受けられる企業や地域をつくる

みんながサポートするために(フィールド)

○企業・事業所は、多様な人の能力が発揮できる環境をつくる

- ◆ 企業は両立支援制度を作り、女性への配慮を行っているが、活躍の成果が出にくい状況 ⇒ 個々の女性の状況、考え方に適した施策に転じる
- ◆ 奈良県は中小・零細企業が多く、制度が無い企業も多い ⇒ 個々の企業で導入可能な両立支援制度の構築
- ◆ 同じように働き、同じように成果を上げるのではなく、社員それぞれの置かれた状況、考え方、時間の使い方の違いを仕事に活かす ⇒ 多様な働き方の中から仕事と家庭をバランスよく両立できる働き方を選択できるようにする

○父親の家事・育児参画を推進する

- ◆ 子育て期の男性の就業時間が長く、家事・育児に費やす時間が短い状況 ⇒ 企業における男性の仕事と子育ての両立支援の促進
- ◆ 企業等において、父親が育児にかかる休暇を取得しにくい状況 ⇒ 企業等と連携した父親と子どもとの交流イベント等の実施

「なら女性活躍推進倶楽部」

- ◆ 出産、子育て、介護で仕事を諦めない職場づくり
- ◆ 男女ともに働きたいのある職場づくり

なら女性活躍推進倶楽部 ～県内企業による女性人材の確保・定着をサポート～



「なら女性活躍推進倶楽部」は、県内企業・事業所に会員登録いただき、行政・関係団体等とともに、男性も女性も働きがいを感じ、生き生きと働き続けることができる職場づくりに取り組んでいきます。
 企業・事業所等のご意見をいただきながら、会員同士で行う交流会や女性活躍推進に取り組むためのセミナー等を企画・実行し、女性人材の確保・定着をサポートします。

なら女性活躍推進倶楽部

登録会員

女性人材の確保・定着に主体的に取り組もうとする企業・事業所等
 (法令遵守、女性活躍推進宣言を登録要件)

- 「男女ともに働きやすく、働きがいのある職場づくり」に主体的に取り組む



支援団体

経済・労働関係、人材育成関係、行政の各分野で、団体の構成員等における女性の活躍推進を支援する団体等

- 事業への広報協力 ● 女性活躍に向けた取組を実施

企画委員会

- ◇ 経済・労働関係 (県内企業、社会福祉法人、連合奈良)
- ◇ 人材育成関係 (奈良県大学連合、奈良女子大学やまと共創教育センター)
- ◇ 行政 (奈良労働局、奈良県、奈良市、王寺町)

- 倶楽部の運営や事業の企画に関し、検討・協議

企業・法人部会

起業部会

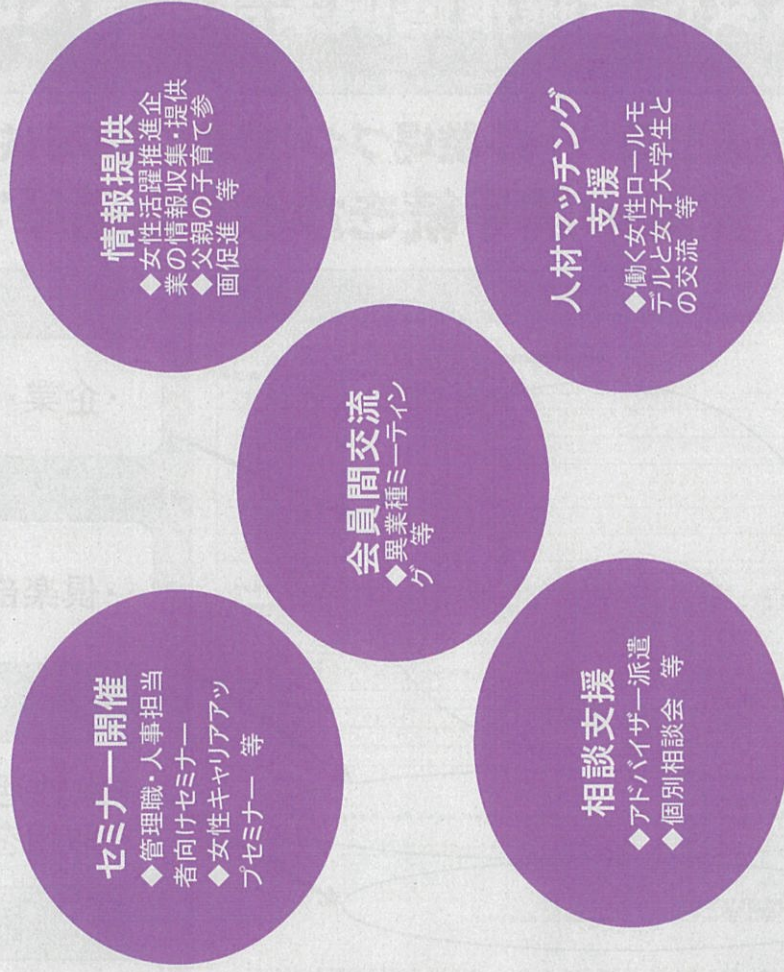
事務局

奈良県こども・女性局女性活躍推進課

- 倶楽部事業の実施
- 倶楽部の広報
- 会員の確保
- 企画委員会の開催・運営

なら女性活躍推進倶楽部の取組

県内企業・事業所経営者に経営戦略として女性人材の確保・定着を推進していただけるよう、意識改革を最優先で取り組む。



※今後、取組予定のものを含む。企画委員会での検討を踏まえ、取組を実施。